



## 食物アレルギー緊急時カード

子ども同士がわかりあえる緊急時のカード



平成 24年度 神奈川県「子ども・子育て支援プロジェクト」助成事業

## 使用前に必ずお読み下さい

食物アレルギー緊急時カードは、食物アレルギー診療を受けた患者が担当医から直接配布される場合にのみご使用ください。他人に配布されたカードの複製物を使用したり、他人に譲渡・貸与することは絶対にしないでください。禁止事項に反して使用した結果としての事故やトラブル、また、緊急時カードを紛失されたことが原因で起こりうる個人情報の流出並びに事故などについて AL サインプロジェクトは一切の責任を負いません。これらの内容をご承知の上、細心の注意を払って有効にご利用ください。

食物アレルギー緊急時カードの著作権は AL サインプロジェクトに帰属します。これらの著作物を許可無く印刷物や出版物、電子出版物（インターネットを含む）に掲載、転載、複製し、紹介したり配布や使用することを禁じます。

配布医療機関名

SAMPLE

制作配布元

市民ボランティア ALサインプロジェクト

ホームページアドレス <http://alsign.org>

↓この線で折る

カード中面

わたしのくすりはここにあります↓  もっていない

くすりのなまえ のみかた・つかいかた

SAMPLE

ちゅうしゃ  
エピペン注射はここにあります↓  もっていない

なまえ  
名前

ほごしゃめい  
保護者名

しゅじめい  
主治医名

れんらくきき  
連絡先

1

2

3

ほんそうさきびょういんめい  
搬送先病院名

カード記入日（きにゅうび）

年 月 日



# 食物アレルギー緊急時カード

食物アレルギー緊急時カードは、食物アレルギー児をサポートするための情報カードとして患者本人が携帯するものです。こども同士でも内容を理解でき、伝えることができるようにつくりました。

正しい診断に基づいて！



カードの記入内容は主治医とよくご相談ください。記入後もそのままにせず定期的に見直しをしてください。

親子でよく確認！



お子様にカードを携帯させる前にカードを持つ意味や記入内容を十分に説明し、話し合ってください。

カードは見つけやすく！



(使用例 / カードホルダーに入れて携帯)

見つけやすく目立ちすぎない携帯方法をお勧めします。また、紛失しないような工夫をしてください。

SAMPLE

SAMPLE

監修

栗原和幸 先生  
神奈川県立こども医療センター  
アレルギー科部長



## 医師からのメッセージ

このカードは、緊急時に居合わせた人に対処法を伝えるカードです。  
記入内容は担当医とよく相談して下さい。  
また、カードの目的と利用法についてお子様とよく話し合い理解を深めて下さい。  
食物アレルギーと上手に付き合っていくためには、定期的に医師を受診し、正しい診断と指導に基づいた最小限の食物除去を実践することが大切です。  
そして、時期が来たら食物負荷試験を行い食べられるものを増やしていきましょう。

監修

今井孝成 先生  
昭和大学医学部  
小児科学講座 講師



↓ ここで折る

カードおもて面

ぐあいがわるくなったら、<sup>やす</sup>すわって休ませてください  
ちかくの<sup>おとな</sup>大人か<sup>ひと</sup>おうちの人を<sup>よ</sup>呼んでください

<sup>の</sup>くすりを<sup>てつだ</sup>飲むお手伝いをしてください

<sup>きゅうきゅうしゃ</sup>救急車を<sup>よ</sup>呼んでください (119)  
(呼んでほしいとき)

×××××× わたしには、<sup>きん きゅう じ</sup>たべものアレルギーがあります  
<sup>しよくもつ</sup>食物アレルギー緊急時カード

たべもののしゅるい

ここにアレルギーを大きく記入してください

SAMPLE ALLERGY

たぐあいわる  
を食べると具合が悪くなります